別紙１

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和７年１月１４日

協議会名： 白糠町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
白糠町	⑴茶路沢コース （右股～白糠駅・白糠学園・清和園） ⑵庶路沢コース （上庶路～白糠学園・清和園） ⑶庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統１ （庶路駅～白糠学園） ⑷庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統２ （庶路駅～清和園） ※なお、⑵、⑶及び⑷で使用する車両の購入にあたっては、車両減価償却費等国庫補助金を活用する。	なし	A	当該事業は計画どおり適切に実施されている。	B	◆市街地コミュニティバスの利用者数　5,768人（令和6年度目標8,000人） ◆市街地における公共交通利用圏域　75.0％（令和6年度目標75.0％） ◆山間部における公共交通の利用者数　1,389人（令和6年度目標2,000人） ◆バス交通への満足度　62.6％（令和6年度目標80％） ・令和５年10月～令和６年９月までの利用者数は、市街地コミュニティバスは昨年同期と比べ増加、山間部の予約制バスは減少し、伴に目標値を下回る結果となった。	今後は、令和６年３月に策定した「地域公共交通計画」に基づき、町民が生活する上で必要（買い物や通院、通学等）な町内及び広域移動を確保・維持するため、協議会において、利便性の良い交通体系の構築を目指す。